

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
電気実習	3単位	3学年	必修	電気科

1 科目の目標

電気基礎、電気機器、電力技術の科目において学習した内容を、実験実習を通して実証、確認し、シーケンス制御装置及びパソコンソフトの取り扱いを修得する。

2 教科書

実験実習指導書

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	実験実習に対する心構え、服装、注意事項等を体得する。実験実習と他の科目の内容との関連を理解させ、両者に対する意欲を高める。	
思考・判断	実験実習に用いた材料、工具、各種装置などの特性、原理構造を理解し発展的応用について学習させる。	
技術・表現	実験実習の内容が近代社会や工業、産業界における技術とどのような関連をもち、どのように応用され実現されているか理解させる。	
知識・理解	実験実習の原理内容、関連知識、各種装置などの構造、用途、取り扱いに習熟させる。	

4 評価の方法

実験実習の評価は、他の講義式科目のように定期考査では困難な一面があり、また、実験実習、測定実習、工作実習等がありその内容によっても評価方法が多少異なる。従って、実習報告書提出を伴う実習とそうでない場合等に分けて評価する。

(1) 実習報告書提出を伴う実習の場合

実習報告書70%、その他、実習態度など30%

(2) 実習報告書提出を伴わない実習の場合・・・製品、作品による評価

作品、製品70%、その他実習態度など30%

(3) 実習計画書の評価の観点欄に表記できる実習項目については、その評価を考慮する。